持続可能な簿記会計教育

～指導者および学習者の視点に立って～

兵庫県立姫路商業高等学校
教諭　　岩本　淳悟

本発表は、
昨年８月に開催予定であった
「第50回関西商業教育研究大会滋賀大会」
で発表する予定だったものを
加筆・修正したものです

兵庫県の商業教育の現状

兵庫県高等学校教育研究会商業部会
および
兵庫県高等学校商業教育協会について

「兵庫県高等学校商業教育協会」組織図および他機関との関連図（他機関の組織は、関係分のみ抜粋して表示）

兵庫県高等学校商業教育協会

監　事

総会 ― 理事長 ― 副理事長 ― 常務理事会 ― 理事会 ― （事務局との連絡・調整）

各会議（会則 16 条による）

校長会	県立神戸商業高校
教頭会	県立神戸商業高校
商業科主任会	県立神戸商業高校

研究部（会則 17 条による　各種競技大会県予選の企画・運営）

研究部名	所掌競技大会	主管校
簿記研究部	簿記競技委員会	県立姫路商業高校
珠算・電卓研究部	珠算競技委員会	市立明石商業高校
ワープロ研究部	ワープロ競技委員会	県立神戸商業高校
英語研究部	英語スピーチコンテスト委員会	県立神戸商業高校
情報処理研究部	情報処理競技委員会	県立神戸商業高校
商業経済研究部	生徒研究発表委員会	市立神港橘高校

委員会（会則 18 条による）

委員会名	主管校	主な業務
研修委員会	県立神戸商業高校	教員研修の企画・調整
進学委員会	県立神戸商業高校	進学合宿・大学関連行事等
就職委員会	県立神戸商業高校	調査・講演等
改善委員会	県立神戸商業高校	調査・研究・改善提案
定通委員会	県立長田商業高校	定通制各種競技大会の企画・運営

事務局

事務局長 ― 副事務局長

総務部

- 総会・常務理事会・理事会・校長会・教頭会・商業科主任会の運営
- 協会内部での連絡・調整、全商・関商研・産業教育振興会との連絡・調整
- 生徒研究助成・卒業生成績優秀者表彰
- 文書管理および発送・会員名簿・協会の総括事務

経理部（協会の予算・決算・助成管理）

調査・広報部（商業教育集録・Web 維持管理・広報PR活動）

全商協会　各検定試験 本部校

左記主管校は、当該分野の全商検定本部校業務を担当する

- 簿記実務検定
- 会計実務検定
- 珠算・電卓実務検定
- ビジネス文書実務検定
- 英語検定
- 情報処理検定
- 商業経済検定
- ビジネスコミュニケーション検定

兵庫県高等学校教育研究会 研修委員会

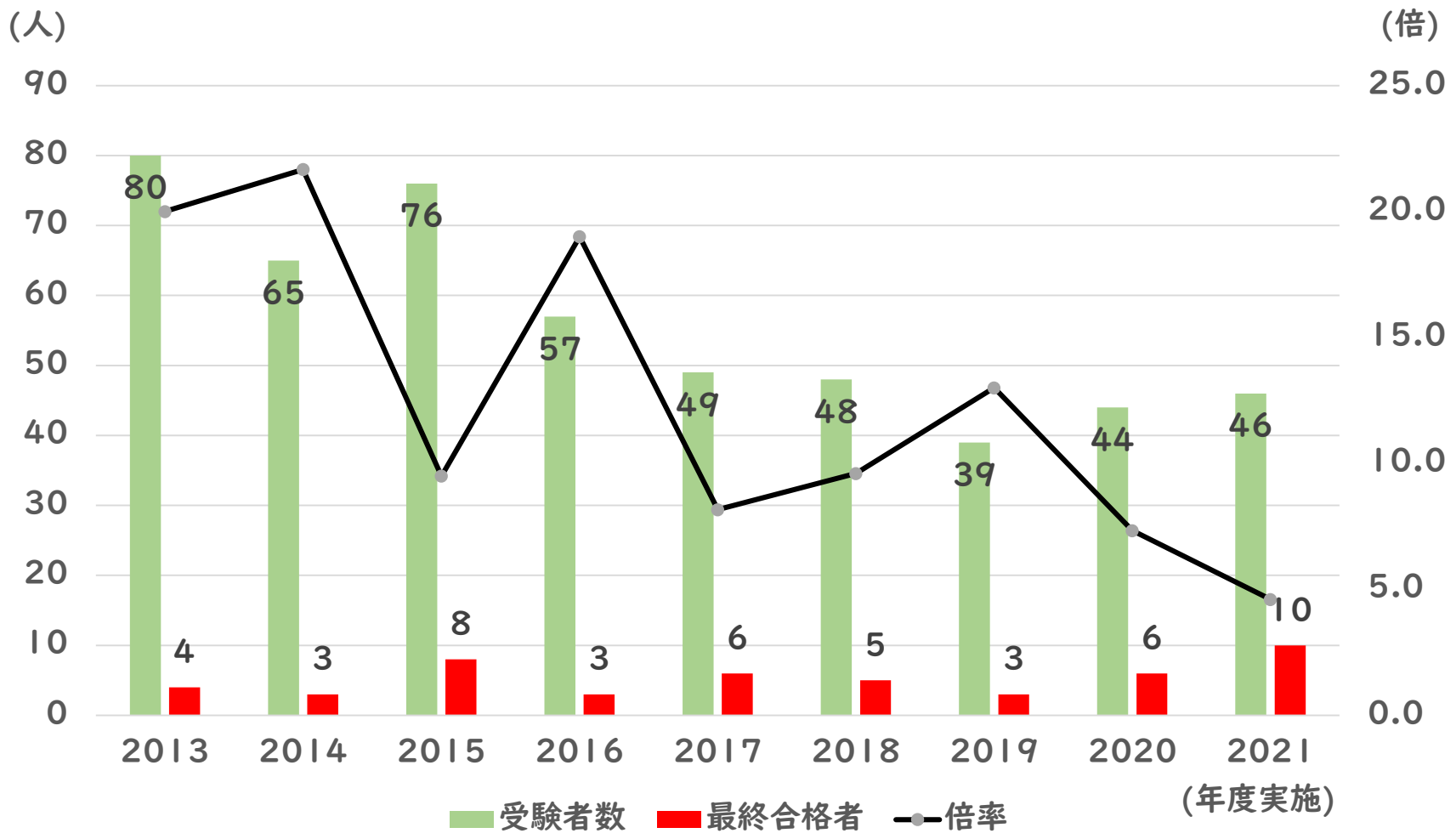
（県教育研究会内の１教科としての研究機関）

- マーケティング・マネジメント分野
- 会計分野
- ビジネス情報分野
- 総合分野（実践・課題研究）

兵庫県における商業系高等学校等の概要
（商業教育協会　加盟校数）

		全日制	定時・多部制	通信制
単独商業高校	公立	3	1	0
	私立	1	0	0
商業科設置校	公立	8	1	0
	私立	2	0	0
商業科目履修校	公立	28	3	0
	私立	1	0	0

兵庫県公立学校教員採用試験における商業の採用状況（神戸市を除く）



兵庫県教育委員会事務局　教職員課　採用ページ資料より作成

若年層の増加

↓

知識技術の伝承

全国どこの自治体も

同じ問題を抱えているのでは？

「指導者」側の視点より

研修の在り方について

みなさまに質問

「研修」とは何か？

研修とは

職務上必要とされる知識や技能を
高めるために、ある期間、特別に
勉強や実習をすること。

また、そのために行われる講習。

出典：デジタル大辞泉（小学館）

教育公務員特例法

第21条
　教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

第22条
　教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

なぜ「研修委員会」が発足したのか

商業教育　≠　社会のニーズ

若年層の増加　→　知識技術の伝承

新たな商業教育を
主体的に作り上げる人材育成が必要

研修部会自体を教員の研究・研修の場

リーダーシップ育成の場と位置付ける

「持続可能」な
簿記教育とは何か？

持続可能（維持・継続）

単発で終わることが無いように

引き続いて受講できるように

これまでやってきたことを関連付けて

4 質の高い教育をみんなに

指導者は絶えず学び続けないといけない

簿記会計は生き物

これまでの活動について

（２０１８～２０２１年）

２０１８年度実施の研修

・戦略マネジメントゲーム体験

・研修活動先進県の視察

・戦略マネジメントゲーム実践見学

戦略マネジメントゲーム体験

（８月　姫路情報システム専門学校）

戦略マネジメントゲーム（戦略ＭＧ）とは？

一方的に受講者に知識を伝達する従来の講義スタイルとは異なり、参加者ひとりひとりがゲーム形式で会社を起業し経営し、経営活動のさまざまな意思決定を実践していく能動的学習（アクティブ・ラーニング）

戦略MG研究所「戦略MGとは」より

導入の背景

簿記・会計・原価計算・管理会計の分野を
総動員した学びの展開

↓

指導者・学習者の両者にとって
有意義な授業が展開できるのでは？

実際に所属校で実践し、見学をしてもらい、
どのように展開をすればよいかについての
研修会を持ちたいということになった

岡山県高等学校商業教育協会
会計分野研究委員会　視察
（１０月　倉敷商業高等学校）

学習会立ち上げの経緯

簿記会計の指導内容が大きく変化

→　研修機会の必要性

指導者のスキルアップを後継者の育成

学習会（研究会）の内容

日商簿記１級（商会・工原）
→レベル的に参加しにくい…

日商簿記２級の改定範囲

全商簿記の指導法

実施状況について

2002年度に私的学習会として発足

2008年からは研修委員会となる

講師は委員会の委員が務める

問題点

　出張扱い・勤務の振り替えが難しい

成果と課題

委員が講師を務める
→自覚とリーダーシップの発揮の場へ

参加者が固定・若手中心

中堅教員の学び直し・後継者育成ができていない

受け身の研修会

↓

考える・行動する研修会への転換が必要

従来の研修
「受け身」

研修委員会の中での研修
「能動的（アクティブ）」

まずは授業で
考える・行動するを
実践してみる

簿記におけるアクティブラーニング

授業（３年・財務会計Ⅱ）における
戦略ＭＧ導入の背景

全商会計実務検定（１０月）の受験後、
今までに学習した簿記会計の知識を使い、
様々なことを考える機会を与えたい

↓

アクティブラーニングの実践

全員全商簿記１級を取得済み
管理会計履修中生徒あり
アクティブな生徒多い
↓
理解が早く、ゲームに集中

興味を持ってもらうための研修会

授業実践の見学

戦略ＭＧの導入効果検証

専門家とのディスカッション

戦略マネジメントゲーム実践

（１２月　兵庫県立小野高等学校）

姫路商業高校

授業内で取り入れている

株式ストーク(株)
100億

２０１９年度実施の研修

・ＭＧ大会への参加および運営法視察

・対話を取り入れた研修

ＭＧ大会への参加

日本大学商学部でのＭＧ－１

戦略MG
マネジメントゲーム研修
（1日編）

第４表　戦略会計 STRAC　経営戦略分析表

（業績アップ・経営計画）

項目 ＼ 期			1期 実績	1期 計画	1期 差異	2期 実績	2期 計画	2期 差異	3期 実績	3期 計画	3期 差異	期 実績	期 計画	期 差異	期 実績	期 計画	期 差異
コスト構造	①	平均単価　P	28			24	25	▲1	23	26	▲3						
	②	変動単価　vP	16			15	17	2	12	16	4						
	③	付加価値単価　mP	12			9	8	1	11	10	1						
		シェア	%	%		%	%		%	%		%	%		%	%	
	④	売上個数　Q	4			12	12	0	11	14	▲3						
収益構造	⑤	売上高　PQ	112			292	300	▲8	250	364	▲114						
	⑥	売上原価（変動費）vPQ	64			174	204	30	133	224	91						
	⑦	売上総利益（付加価値）mPQ	48			118	96	22	117	140	▲23						
	⑧	固定費（諸経費）F	120			88	100	12	124	110	▲14						
	⑨	経常利益　G	▲72			30	▲4	34	▲7	30	▲37						
損益分岐点比率 ⑧/⑦×100			250 (%)			75 (%)			106 (%)	75 (%)							
評価（S.A.B.C.D.DD）			DD			A			D	A							
資本 B/S		負債	0			0			200	250	50						
		純資産（株主資本）	228			258			251	300	▲49						
現金残高			68			116			309	170	139						

※　評価の要素　①Ｐ（平均単価）　②ｖＰ（変動単価）　④Ｑ（売上個数）　⑧Ｆ（固定費）

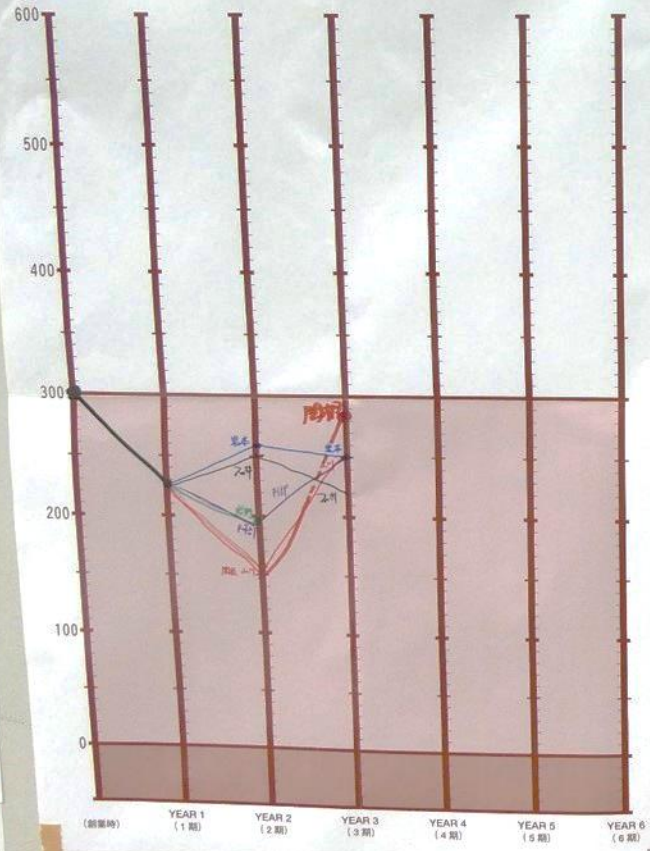
※　PLAN（計画）→DO（実行）→CHECK（評価）→ACTION（改善）→のマネジメントサイクルを回

〔Chart 3〕
期
Chart 3 の順に

3

OWNERS' EQUITY
（純 資 産）

〔Chart 2〕



〔Chart 3〕

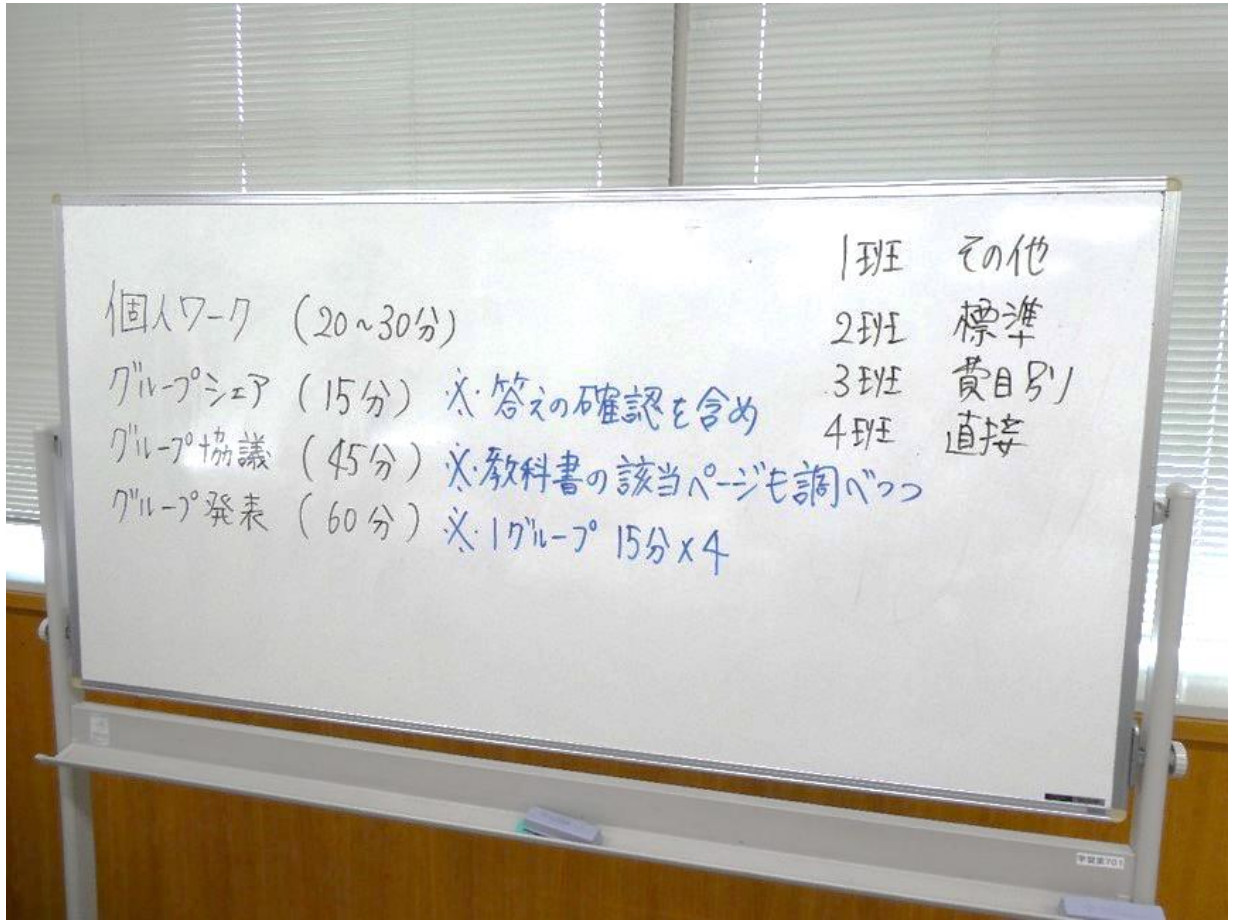
経営戦略分析表・第　期

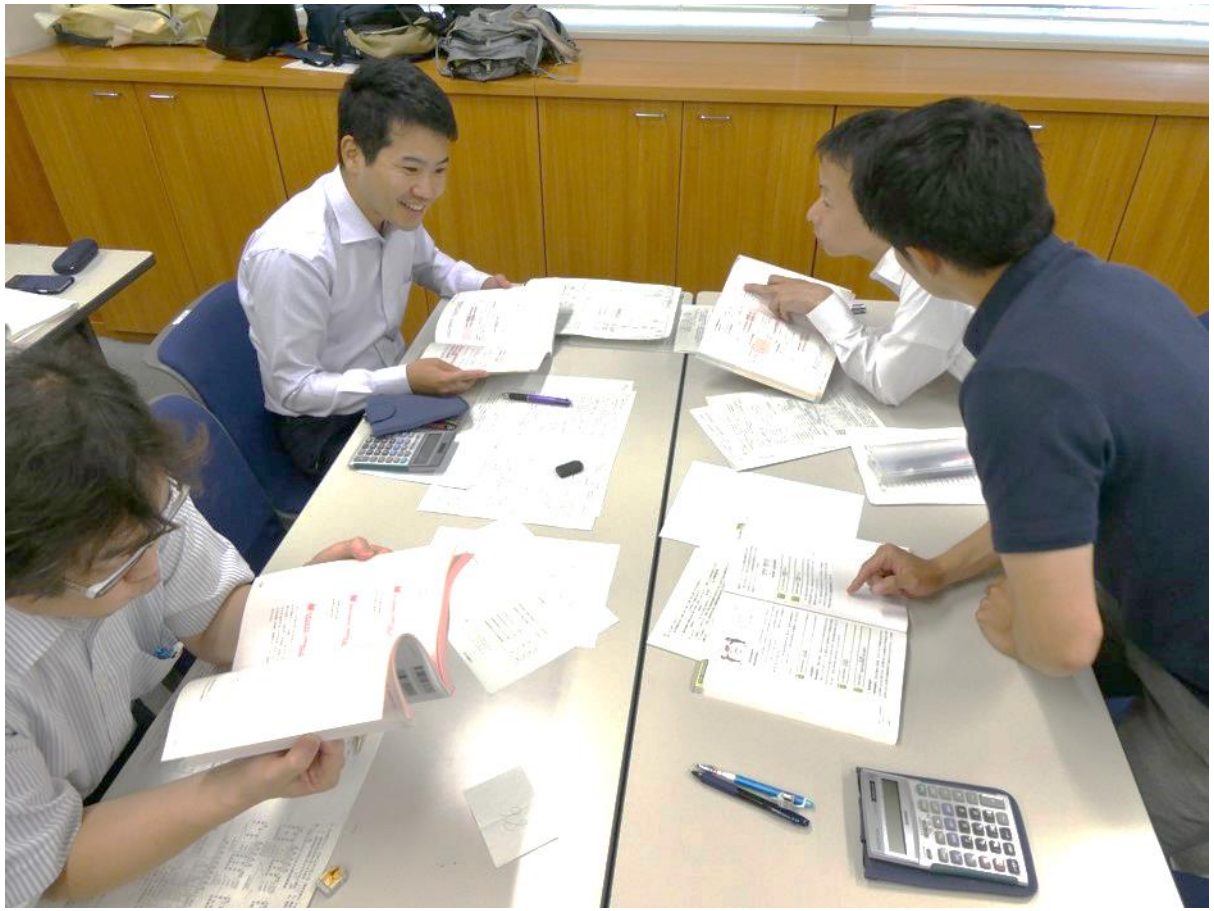
1．実数は〔黒〕の太マジックで記入。
2．（　%）・評価は〔赤〕で、少数以下四捨五入。
3．経営計画は、〔オレンジ〕で右上に小さく記入。
4．Chart 1、Chart 2、Chart 3 の順に左から右へ貼る。

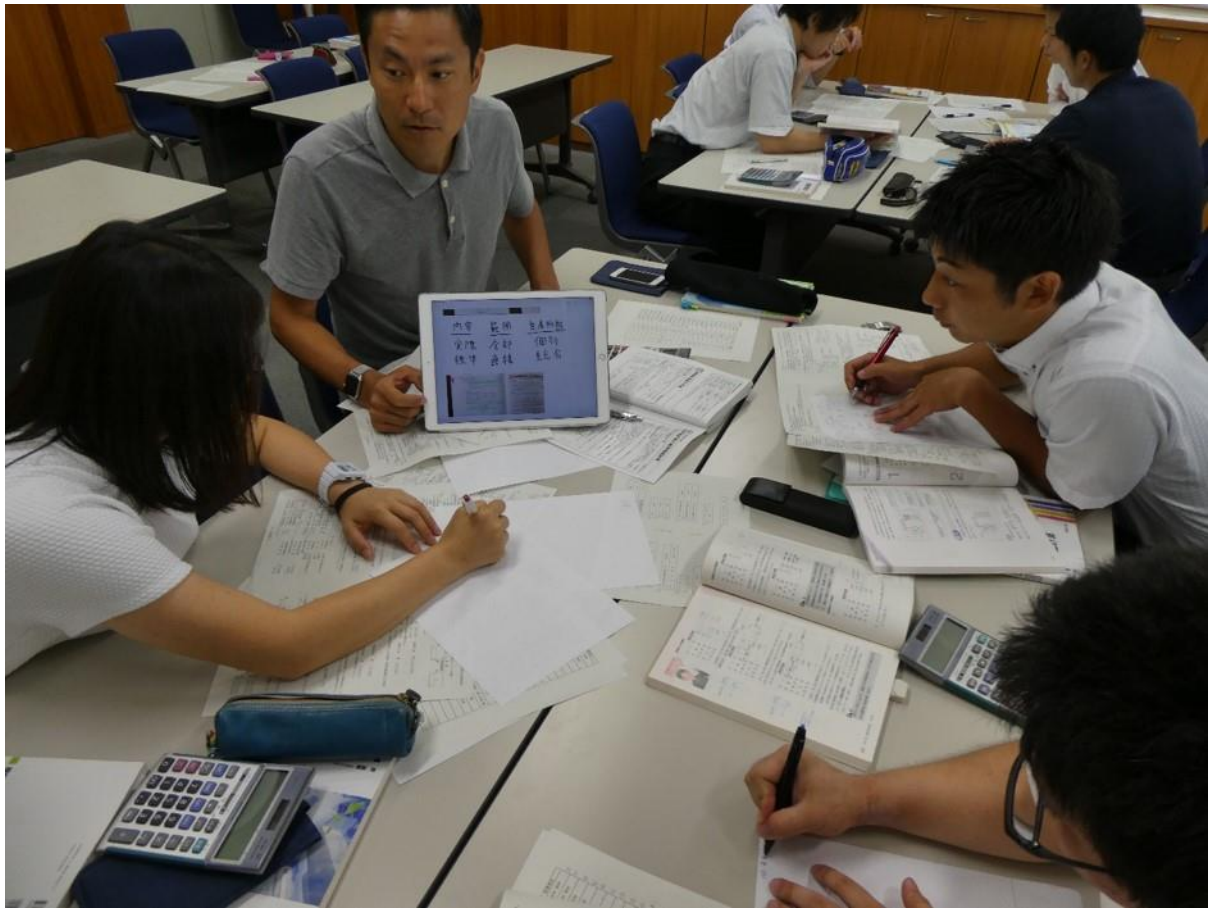
	NAME	岩本	阿部	山川	岩野	石井	関根	
コスト構造	① P平均単価	23	25	26	24	28	28	
	② vP変動単価	12	13	15	13	13	14	
	③ mP付加価値単価	11	12	11	11	15	14	
	④ Q売上個数	11	18	19	16	14	27	
収益構造	⑤ PQ売上高	250	499	499	389	394	754	
	⑥ vPQ変動費	133	239	276	201	183	383	
	⑦ mPQ付加価値	117	215	223	188	211	371	
	⑧ F固定費	124	156	121	197	241	219	
	⑨ G経常利益	▲7	59	102	▲9	▲30	152	
	（計　画）→	（　%）評価	（　%）評価	（　%）評価	（　%）評価	（　%）評価	（　%）評価	（　%）評価
	損益分岐点t/m比率 →	（106%）	（73%）	（54%）	（105%）	（114%）	（59%）	（　%）
	当期評価（S.A.B.C.D.DD）	D	A	S	D	D	S	
資本	負　債	200	200	300	300	0	456	
	純資産	251	254	282	190	220	283	
	現金残高	309	297	440	394	62	564	
資本	負　債	（0）	456	300	300	200	0	
	純資産	95 ~~254~~	157	150	193	195	250	
	現金残高	116	199	186	294	178	98	

戦略MG現金出納帳・決算書
期末費用計算
現金勘定
在庫管理・棚卸（個数）
原価計算
製造固定費
貸借対照表
キャッシュ・フロー計算書（間接法）
会社間の在庫と合っているかな？

対話を取り入れた研修　①







グループワークやディスカッションのある簿記の研修会は初めてでしたが、良い刺激を受けました

グループでの意見交換は学校のレベル、生徒の状況をふまえて指導法を変えていく必要があるので大変役立つ

講義形式とグループワークを両方とり入れて研修を行うのも良いかと思います

「講義形式」と「グループワーク」の
両方を取り入れた研修会を実施

講義形式＋グループワーク　①

講義形式＋グループワーク　②

前半の講義と後半の問題演習で理解が深まった

午後のグループワークで解き方の共有ができてよかった

教える・理解させる・得点させることについて協議ができてよかった

グループワークの主旨を紙で欲しかった

初任や講師向けのものがあればありがたい

２０２０年度実施の研修

・従来の受動型研修会

・ＩＣＴを活用した教材研究研究会

・コンピュータ会計研修会

新型コロナウイルスの影響を受けた１年

ＩＣＴを活用した教材研究研究会

緊急事態宣言による臨時休業で
ＩＣＴを活用したオンライン授業が急加速
↓
学校・教員によって温度差が大きい

で納付したことになる。印紙税は費用として処理し，収入印紙を購入したときに**租税公課勘定**または**印紙税勘定**(費用の勘定)の借方に記入する。

不動産売買の書類と収入印紙

例5

取　引

郵便局で郵便切手￥*8,000*と収入印紙￥*30,000*を購入し，代金は現金で支払った。

仕訳

(借)通信費	*8,000*		(貸)現		*38,000*
租税公課 (または印紙税)	*30,000*				

収入印紙（印紙税）の補足説明　教科書　163ページ

0:03:40　0:00:53

指導者（教員）の視点

授業準備が大変
ＩＣＴ機器を使いこなせない

学習者（生徒）の視点

対面で授業を聞きたい
いつでも復習がしたい

生徒に還元できるような
ＩＣＴ教材を作成し
全県で共有しよう

生徒にもプラス
教員にもプラス

商業高校フェア内で
ＩＣＴ簿記教材作成講座を企画

新型コロナウイルスの影響で中止
（参加希望者なし…）

コンピュータ会計研修会

新学習指導要領　簿記

（5）記帳の効率化

イ　会計ソフトウェアの活用

　ここでは、会計ソフトウェアを活用することの利点及び会計ソフトウェアを活用して効率的に取引の記録と財務諸表の作成を行う方法について扱い、基礎的な活用方法に関する実習を取り入れる。

文部科学省　高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　平成 30 年 7 月より

教科書によって
扱うページ数の幅が広い

重要視されているのか？

都道府県名	聞き取り 学校名	会計ソフト 使用の有無	その他ソフト	現状や今後の展開
愛知県	新城有教館	×	－	愛知県ではあまり盛んではないらしい
青森県	六ケ所	×	－	これから議論される案件ではあるが、県委員会を開催できていない
愛媛県	今治北	×	－	－
大阪府	岸和田市立産業	○	－	弥生会計、課題研究内で実施（出張扱いで視察受け入れ可能）
岡山県	倉敷鷲羽	10年ほど前はあった （学校設定科目と総合実践）	－	今年度からの研究会で研究をしようかと考えている
香川県	高松商業	△×	－	弥生会計を以前したことがある
鹿児島県	鹿児島女子	×	実践くん	実践くんを使用しているところはあるかもしれない
滋賀県	八幡商業	×	－	やっていない（各県の取り組みに任せようという話題をいただいた）

昨年度　岩本調査

都道府県名	聞き取り 学校名	会計ソフト 使用の有無	その他ソフト	現状や今後の展開
静岡県	浜松商業	×	－	議論はしている（予算面等の制約）
東京都	芝商業	×	実践くん	検定指導に追われて実施できない
広島県	県広島商業	×	－	総合実践でやりたいな…で終わっている
福岡県	久留米商業	×	－	令和４年度よりソフト入れて実施予定あり
福島県	郡山商業	○	－	１校実施しているらしい
北海道	福島商業	×	－	今後、弥生会計を入れる方向だが、さわりだけ
三重県	津商業	×	エクセル	エクセルに仕訳入れると財務諸表等が作成される自作のものを使っている
山口県	山口県桜ヶ丘	×	－	検定が多いので指導できない
大分県	宇佐産業科学	○（大分爽風館・三部）	－	三部の学校設定科目にＣＰ会計（１単位）あり

昨年度　岩本調査

会場・講師も決定したものの
新型コロナウイルスの影響で中止

しかし、需要は高いと見込む

２０２１年度実施の研修

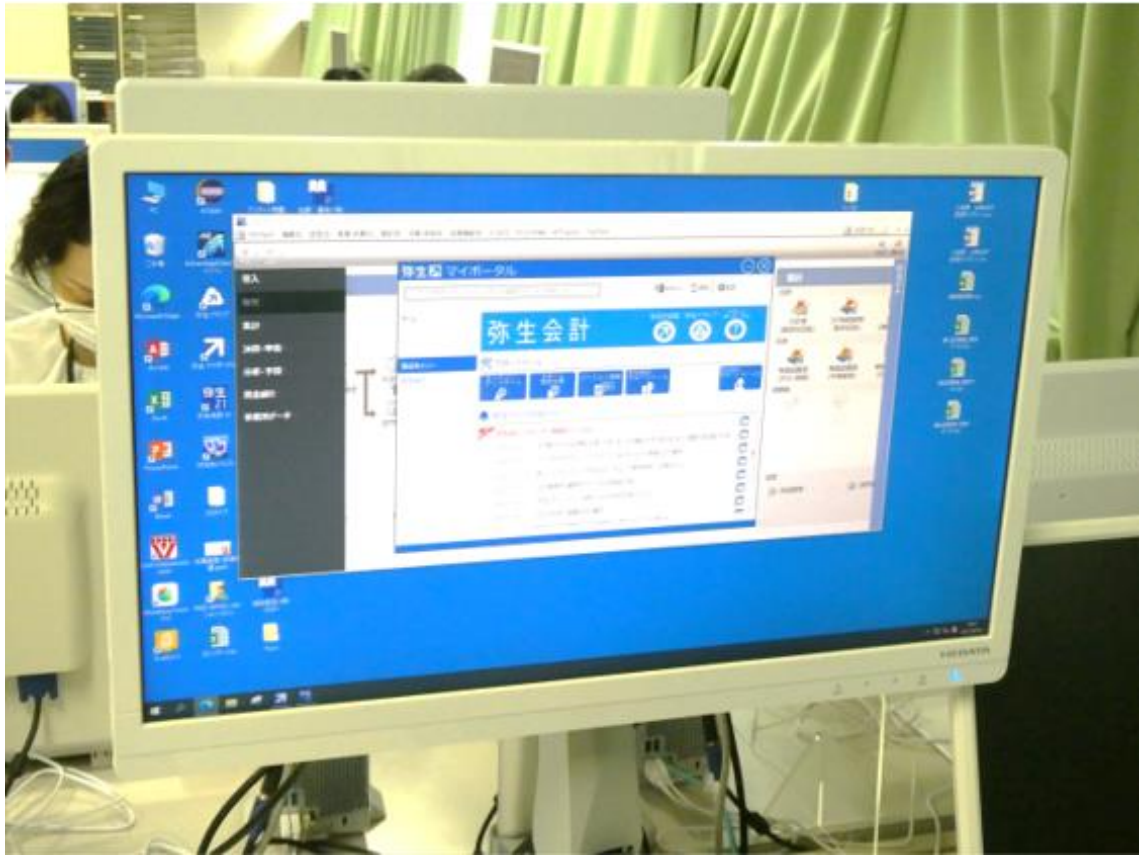
コンピュータ会計および
戦略ＭＧの演習
（兵庫県立教育研修所の講座）

商業科教育講座（Ａ）
（兵庫県立教育研修所主催）

５年研・中堅研を兼ねる

研修委員会メンバー２名がサポート

演習　コンピュータ会計と簿記教育
－会計ソフトウェアの基礎的な活用－



演習　経営戦略思考と会計思考を深める
シミュレーションの基礎
－戦略マネジメントゲームの体験を通して－

受講者の感想（一部）

　検定メインの授業になりがちなので、取り入れて少しでも生徒が社会に出たときに役立つ知識や技術を身に付けさせたい。

　検定だけでなく、その先を見据えて実態に応じた指導法を模索したいと思いました。
　今商業科に求められることを、教員自身常に向上できる心構えを持ち、今後の指導に役立てたいと思います。

　検定だけでなく、学習した知識や技能を生徒が活用したり、再認識できる機会を授業で作ることが必要ではないかと考えました。

　これらを活用して、検定取得だけではなく、「なぜ」「どうして」を追求していく生徒を育てていきたいと思った。

　検定取得のためだけの学習ではなく、より社会に貢献できるような内容を教えていくことが、商業の教員の努めであると改めて実感することができる１日でした。

検定試験は「手段」であり
「目的」ではない

ここまでは
「指導者」側の視点

ここからは
「学習者」側の視点

（再掲）

検定試験は「手段」であり
「目的」ではない

生徒達が
「簿記会計を勉強して楽しい！」
「簿記会計の知識を活かせる！」
と思える瞬間を

大学教授の話　①

マーケティングゼミは人気がある

理由

商品開発などで自分が
考えたものが形になる

大学教授の話　②

会計ゼミは人気がない

理由
　数字ばかり扱うから

大学教授の話　③

推薦入試の面接
「簿記会計を勉強したい」

入学後
マーケティングゼミへ所属…

簿記会計
マーケティング

研究対象の企業

神戸物産
（食品スーパー）
本社：兵庫県加古川市

関西スーパー
（食品スーパー）
本社：兵庫県伊丹市

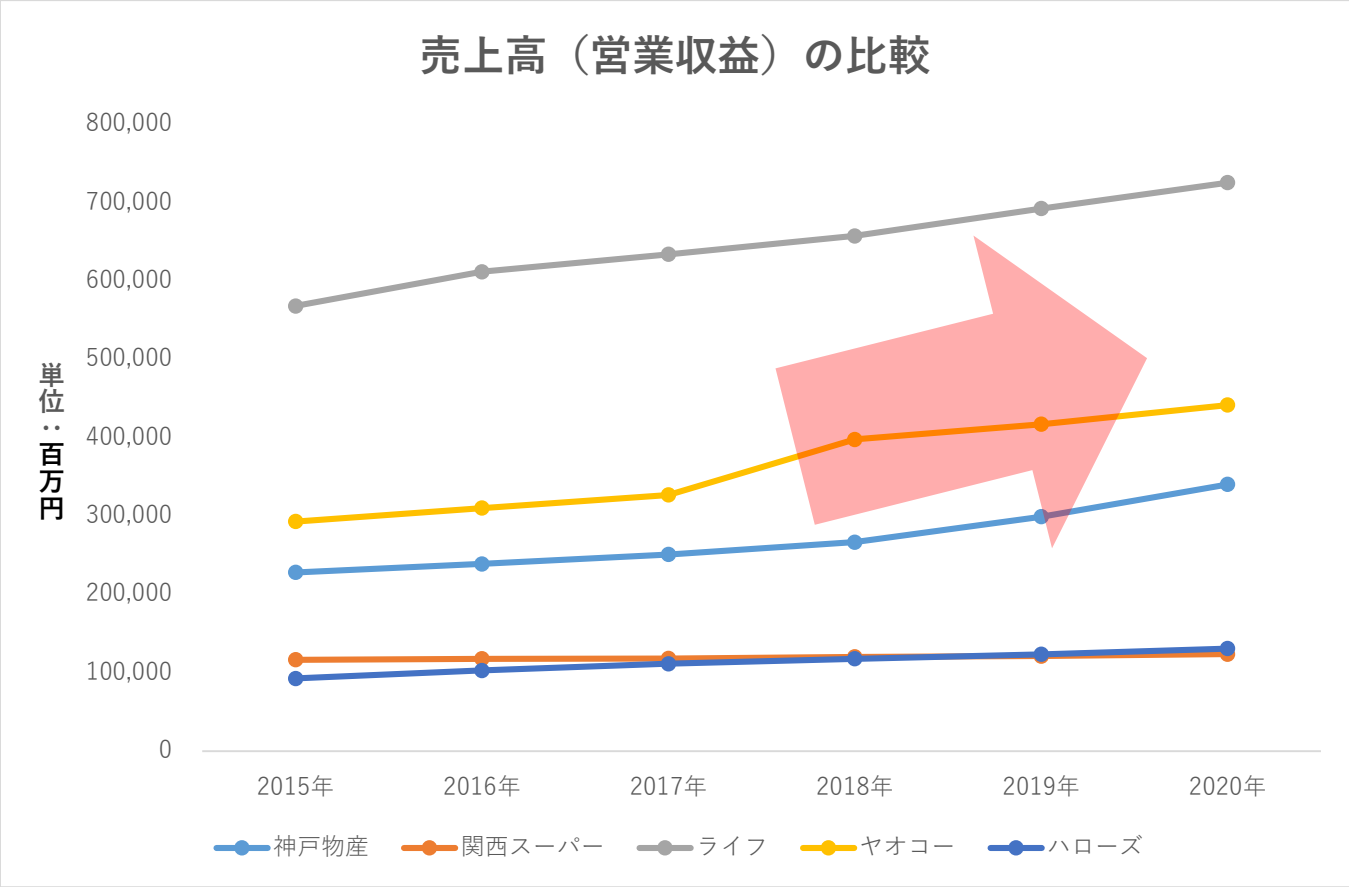
ハローズ
（食品スーパー）
本社：広島県福山市

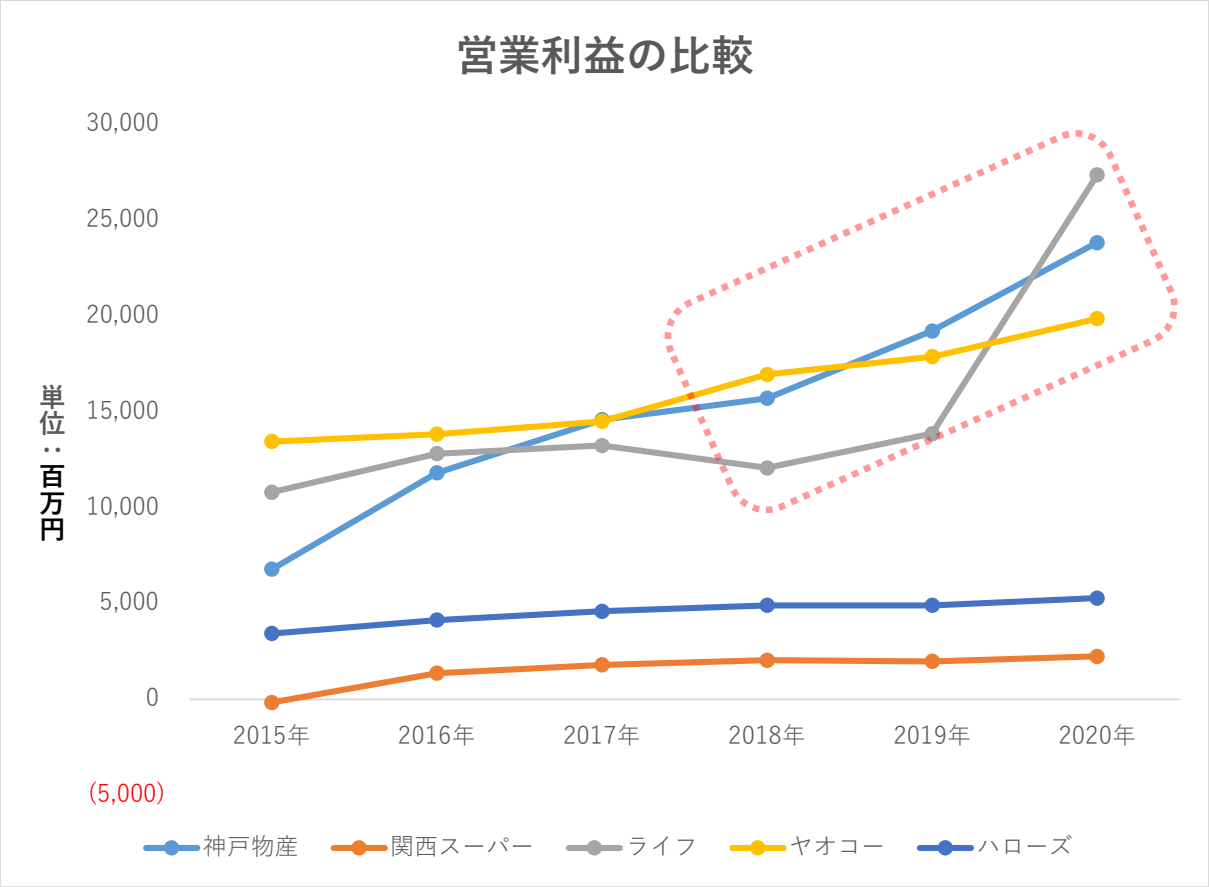
ライフ
（GMS）
本社：大阪市淀川区，東京都台東区

ヤオコー
（食品スーパー）
本社：埼玉県川越市

研究対象企業の経営成績

出所：各社有価証券報告書



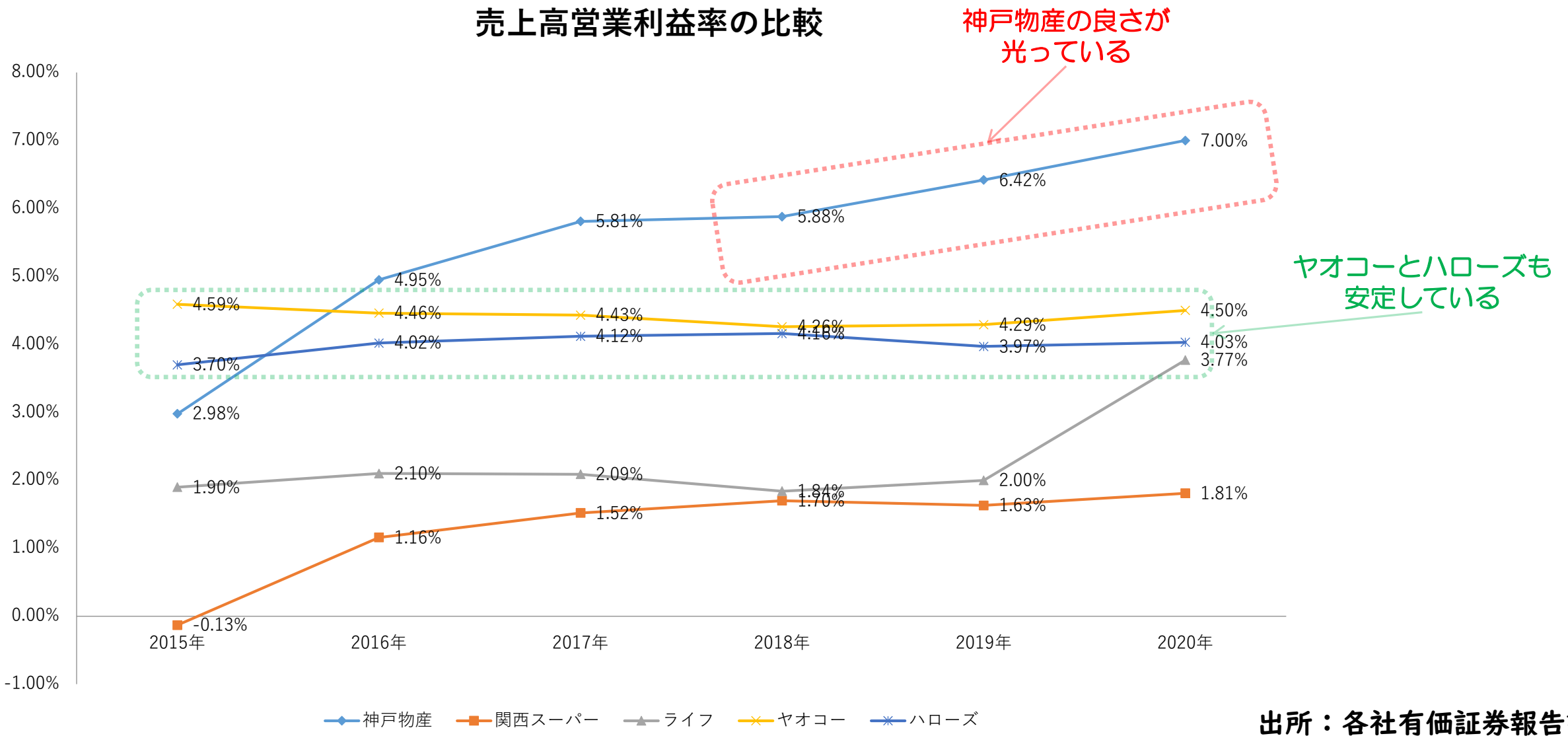


全体的に売上高は増加傾向にあり
コロナ禍でも好調が持続している

神戸物産とヤオコーの増加が著しく
直近はライフの増加が顕著である

総額表示による比較は企業の規模の差が埋まらない。そこで…

研究対象企業の経営成績



出所：各社有価証券報告書

神戸物産の事例

- 鮮度管理が必要な商品は扱わない
  - ☞賞味期限の長いものが多いため、在庫管理が容易になる
    - ★オペレーションが複雑にならないほか省力化しやすくなる

ネーミングの良さも相まって、幅広い人々から支持されている

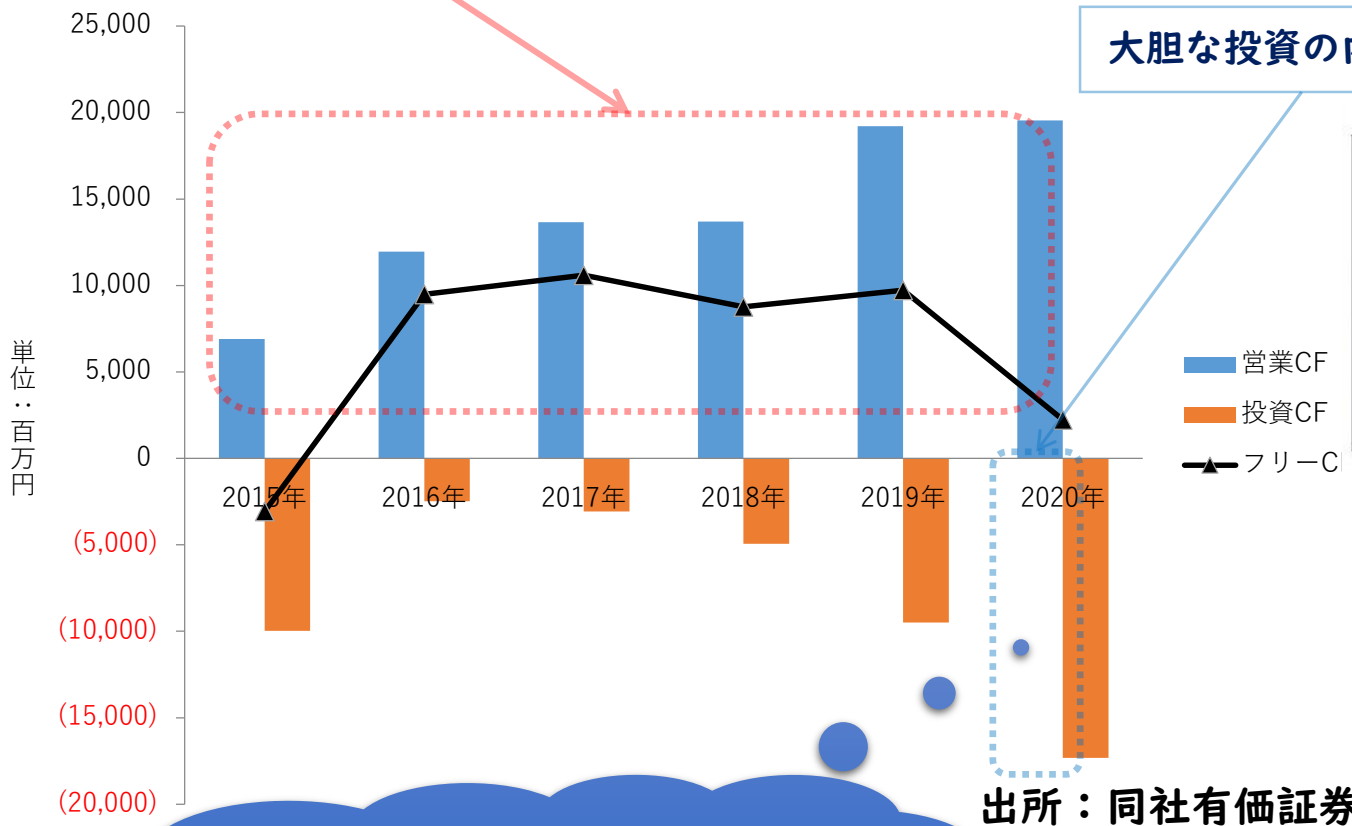
- 流通コストカットを実現する
  - ☞低価格での販売が可能になる

取引総量が増えるにつれ仕入原価の削減が可能になり、継続的にコスト削減に挑戦することができるようになる

神戸物産の事例

売上高営業利益率の好調と相まって、
安定した営業CFの獲得が実現

キャッシュフローの推移（神戸物産・連結）



出所：同社有価証券報告書

大胆な投資の内容は？

本社移転に伴う設備の新設
（稲美町から加古川市に移転）

（1）重要な設備の新設

会社名事業所名	所在地	セグメントの名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定年月		完成後の増加能力
				総額（百万円）	既支払額（百万円）		着手	完了	
株式会社神戸物産	兵庫県加古川市	全社（共通）	事務所	1,954	1,230	自己資金	2020.4	2021.3	—
株式会社ターメルトフーズ	山口県防府市	業務スーパー事業	製造設備	2,130	518	自己資金及び借入金	2020.3	2021.7	—
株式会社グリーンポートリー	岡山県津山市	業務スーパー事業	製造設備	1,252	310	自己資金	2020.9	2021.6	—

（注）完成後の増加能力については、その測定が困難なため、記載を省略しております。

肉の加工技術が優れた冷凍食品
企業（山口）を特定子会社に

良質な国産鶏肉を供給する企業
（岡山）を子会社に

商品の企画や提案力の
向上が実現できる仕組み
構築に余念がありません

PB商品の自社開発のために積極的に食品メーカーを
グループ傘下にして競争力を高めている

有価証券報告書の利用

（2）国内子会社

会社名	事業所名（所在地）	セグメントの名称	設備の内容	帳簿価額（百万円）						従業員数（人）
				建物及び構築物	機械装置及び運搬具	土地（面積㎡）	リース資産	その他	合計	
株式会社オースターフーズ	—（兵庫県姫路市他）	業務スーパー事業	製造設備	280	239	156（8,508.92）	—	140	817	43（62）
株式会社ターメルトフーズ	—（山口県防府市）	業務スーパー事業	製造設備	62	48	272（11,544.98）	—	303	687	6（7）
株式会社神戸物産エコグリーン北海道	むかわ農場他（北海道勇払郡むかわ町他）	業務スーパー事業	農場事業所	267	69	1,276（7,930,400.05）	—	7	1,621	29（4）
秦食品株式会社	—（滋賀県蒲生郡竜王町）	業務スーパー事業	製造設備	2,212	2,398	378（69,493.01）	—	114	5,104	38（76）
株式会社マスゼン	—（栃木県宇都宮市）	業務スーパー事業	製造設備	65	154	98（5,236.00）	—	20	337	37（34）
株式会社肉の太公	—（東京都江戸川区）	業務スーパー事業	製造設備	195	134	751（10,524.22）	—	5	1,087	28（42）
株式会社麦パン工房	—（岐阜県岐阜市他）	業務スーパー事業	製造設備	1,111	1,577	377（10,947.98）	—	53	3,119	47（39）
宮城製粉株式会社	—（宮城県角田市他）	業務スーパー事業	製造設備	607	570	376（44,532.96）	6	242	1,803	110（80）
株式会社グリーンポートリー	鏡野農場他（岡山県苫田郡鏡野町他）	業務スーパー事業	製造設備	777	486	328（512,757.16）	—	306	1,898	76（82）
珈琲まめ工房株式会社	—（兵庫県姫路市）	業務スーパー事業	製造設備	218	115	99（3,014.83）	—	0	433	8（5）
関原酒造株式会社	—（新潟県長岡市他）	業務スーパー事業	製造設備	—	8	16（3,958.61）	—	0	24	4（1）
豊田乳業株式会社	—（愛知県豊田市）	業務スーパー事業	製造設備	244	273	267（16,223.00）	—	80	866	20（4）
菊川株式会社	—（岐阜県各務原市）	業務スーパー事業	製造設備	269	241	151（83,503.03）	—	4	666	29（8）
株式会社朝びき若鶏	—（群馬県高崎市）	業務スーパー事業	製造設備	1,196	298	558（319,232.88）	—	25	2,078	80（95）

地域の企業を知ることで
地元を考えるきっかけに

大会テーマ

「地域の担い手を育て、
　地域創生に貢献するビジネス教育」

会計分野は地域の何に貢献できるのか？

財務分析の活用

財務会計Ｉで財務分析手法を学習する

財務分析の活用

地域の上場企業であれば、IRサイトやEDINET等で有価証券報告書を閲覧することができる

姫路市の上場企業

西松屋

山陽特殊製鋼

GLORY

神姫バス

など合計１３社

滋賀県の上場企業

FUJITEC

HEIWADO

TaKaRa

など合計１１社

京都府の上場企業

など合計７１社

大阪府の上場企業

あったらいいな®をカタチにする

小林製薬

NISSIN GROUP

ODK solutions

など合計４４２社

奈良県の上場企業

DMG MORI

NANTO 南都銀行

株式会社 ヒラノテクシード
HIRANO TECSEED Co.,Ltd.

など合計６社

和歌山県の上場企業

オークワ

銀行をこえる銀行へ
紀陽銀行

SHIMA SEIKI

など合計１０社

財務分析の活用

工場見学や企業訪問

↓

財務諸表の面から様々な質問ができれば、
高校生から見たコンサルティングもできる

↓

地元企業に何らかの貢献ができる

問題点①

上場企業は会計情報を開示しているので
財務分析がしやすい
↓
高校生は監査法人社員等でないので
一蹴される可能性は高い

問題点②

非上場企業は会計情報を開示していない
↓
会計情報が入手できない可能性が非常に高く
学びを生かせない可能性が高い

姫路市近隣の非上場企業
（たつの市）

天使のはね®
セイバン

おいしさをずっと、400年。
ヒガシマル醤油

非上場企業の会計情報の入手

ＴＫＣ月次指標
（月次ＢＡＳＴ）

TKC月次指標（月次BAST）

月次BASTの利用を申し込む　ユーザ登録（無償）

月次BASTを利用する　ログイン

TKC会員事務所はこちらから

中小企業を応援している皆様へ

激変の時代、地域経済の動きを速やかにとらえるために。

「月次決算データ」を集計

TKC月次指標（月次BAST）

- Business Analyses & Statistics by TKC -

集計対象 25万社超　収録業種 99分類

毎月30日に前々月までのデータを公開

いいね！ 686　シェア　Tweet

売上高（実額）

https://www.tkc.jp/tkcnf/bast/monthly/

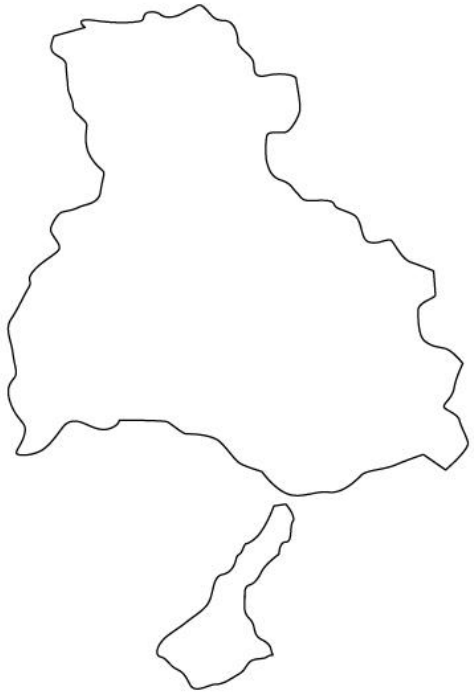
中小企業を中心とした
会計情報の入手は困難

月次ＢＡＳＴであれば
大きなくくりで推移を捉えられる

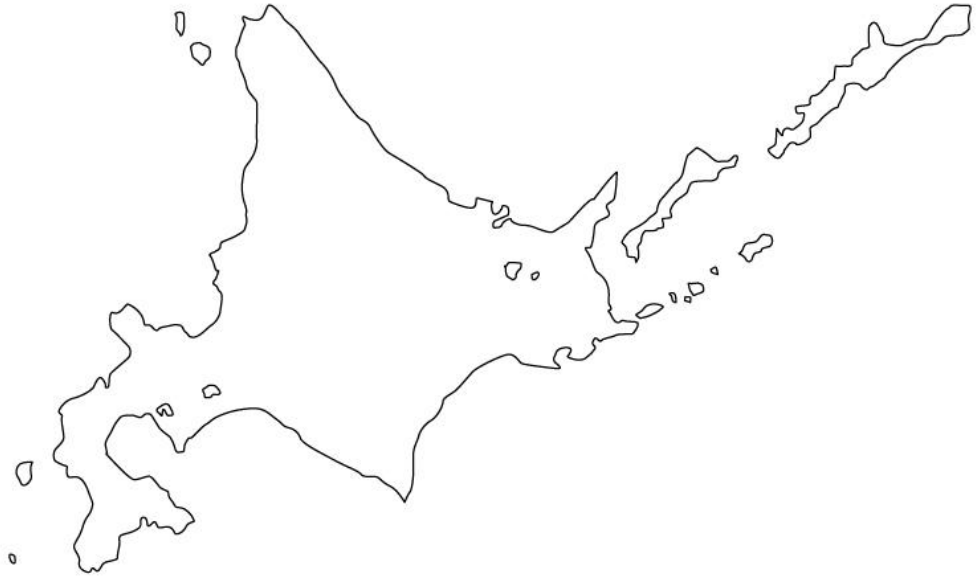
非上場企業の会計情報を使った地域間分析

兵庫県と北海道との比較

なぜ兵庫県と北海道にしたのか



兵庫県



北海道

素材Library.comより

人口が似ている

兵庫県　５４４万人
北海道　５２１万人

RESASやe-statの活用の可能性

但馬県民局
豊岡市/養父市/朝来市
香美町/新温泉町

丹波県民局
丹波篠山市/丹波市

西播磨県民局
相生市/たつの市/赤穂市
宍粟市/太子町/上郡町/
佐用町

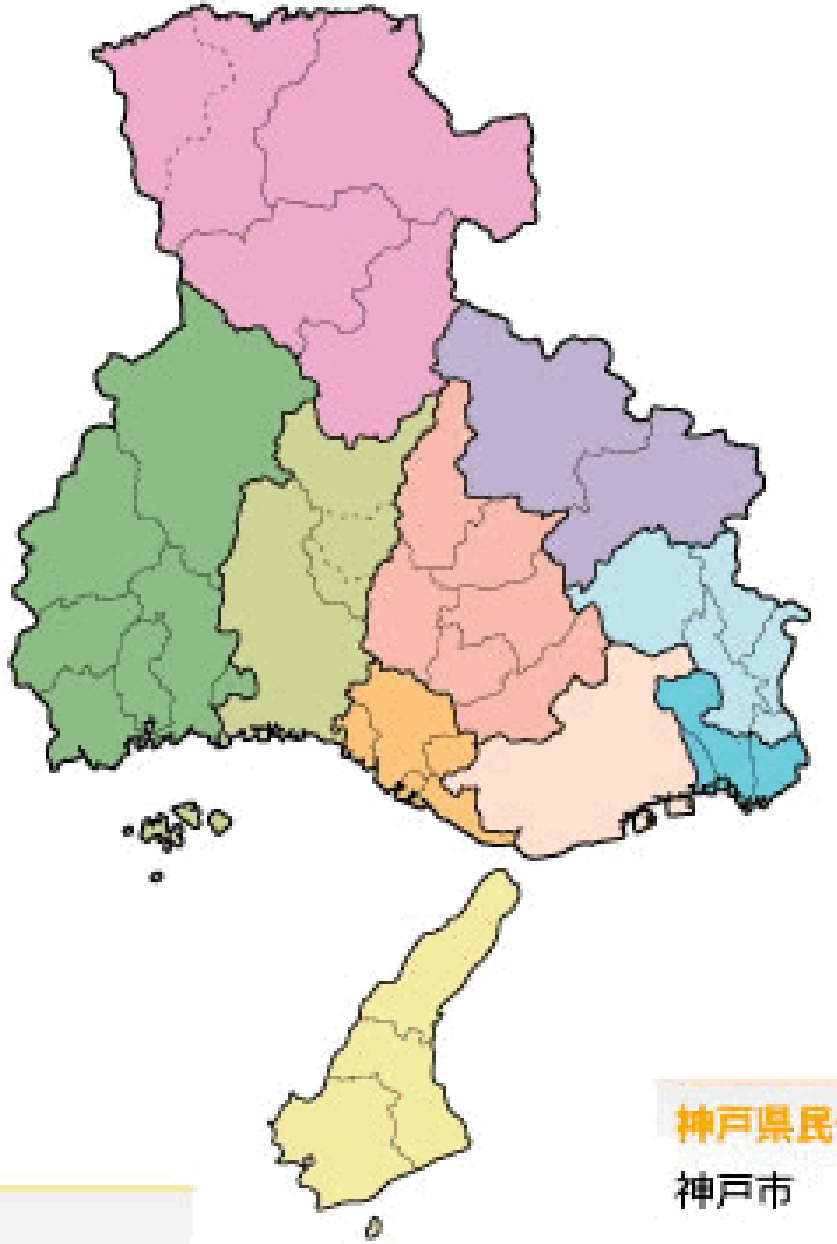
北播磨県民局
西脇市/三木市/小野市
加西市/加東市/多可町

中播磨県民センター
姫路市/神河町/市川町
福崎町

阪神北県民局
伊丹市/宝塚市/川西市
三田市/猪名川町

東播磨県民局
明石市/加古川市/高砂市
稲美町/播磨町

阪神南県民センター
尼崎市/西宮市/芦屋市



神戸県民センター
神戸市

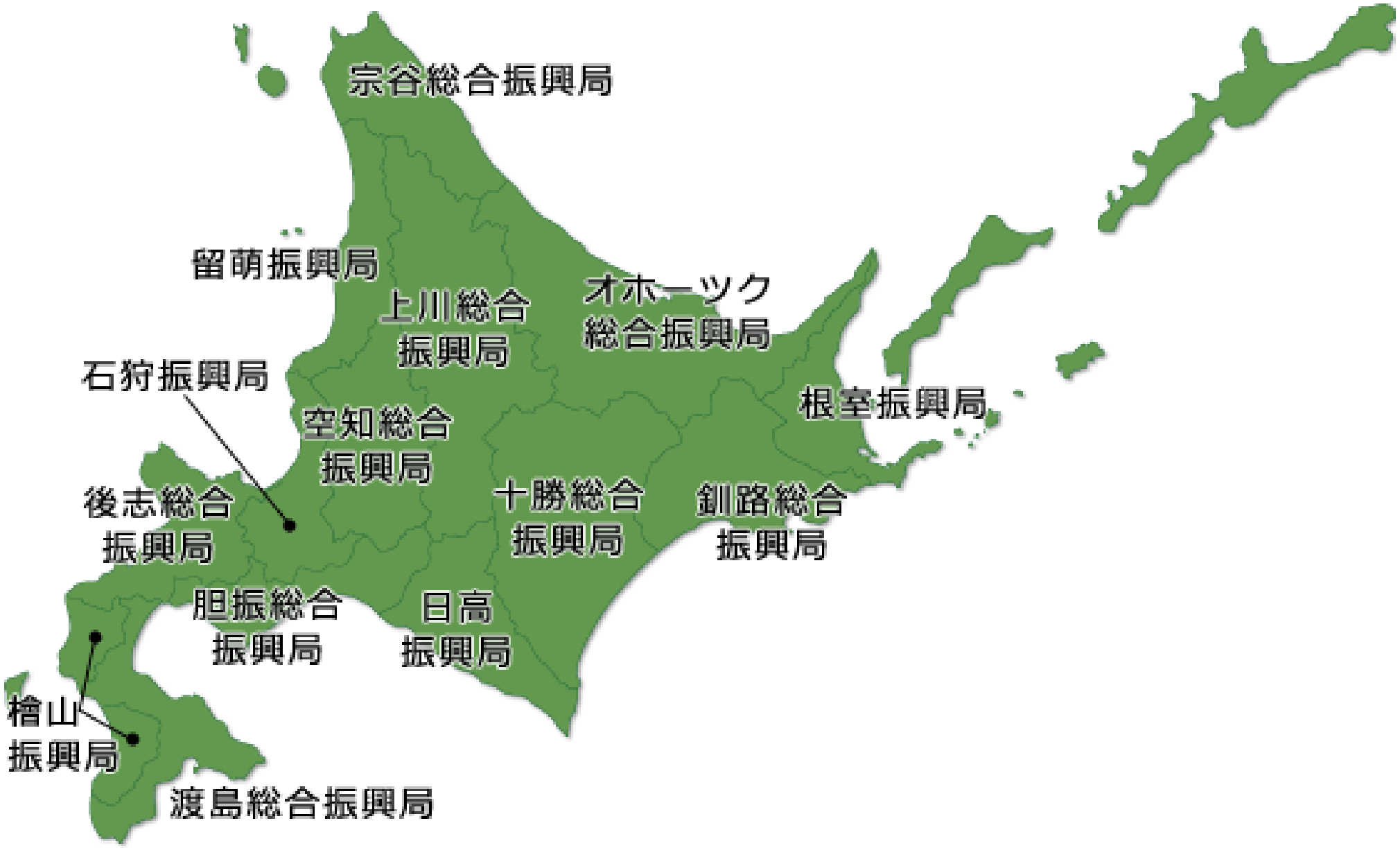
淡路県民局
洲本市/南あわじ市/淡路市

兵庫県市町振興課企画班より

地理の面から考察

瀬戸内側に人口集中

阪神間	１５０万人
神戸市	１５０万人
明石以西	１５０万人



北海道庁ホームページより

地理の面から考察

人口の分散

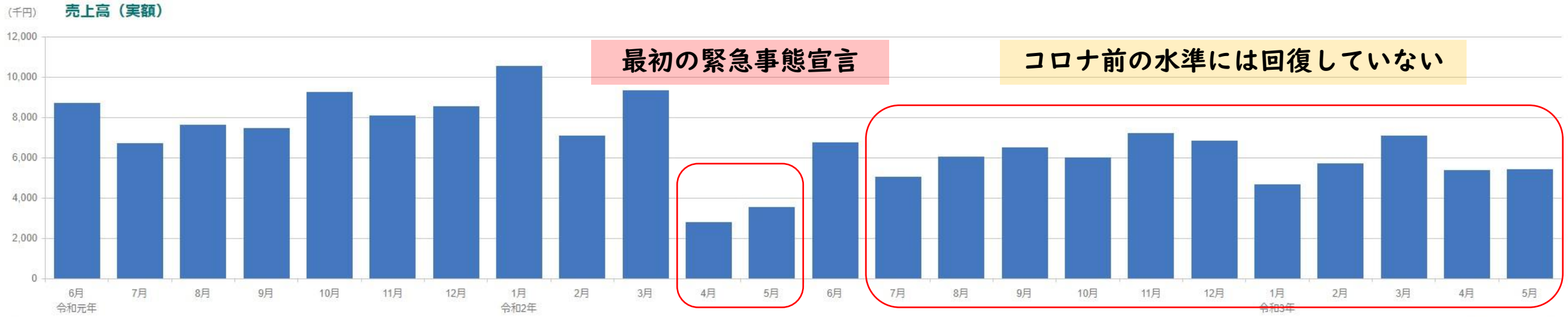
札幌市	２００万人
札幌市近郊	４０万人
旭川市	３２万人
函館市	２６万人

非上場企業の会計情報の分析例　①－１

ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）　[令和３年５月月次決算まで]　　利用者情報　解説書

業種名 （76）飲食店　業種選択　売上規模 全企業　地域 兵庫県　選択　企業分類 すべて　業歴 すべて

売上高（実額）　前グラフ　次グラフ　説明　　業種比較



＜平均値＞　　(単位：千円、%)

	令和元年							令和2年												令和3年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高	8,726	6,722	7,613	7,439	9,234	8,071	8,538	10,550	7,086	9,339	2,786	3,527	6,768	5,039	6,024	6,480	5,995	7,211	6,848	4,671	5,704	7,068	5,363	5,421
前年比	97.2	102.5	96.9	103.9	116.7	95.0	107.2	104.1	101.1	93.8	43.9	52.6	77.7	83.6	65.9	78.2	78.9	80.9	69.4	64.7	70.3	107.6	152.2	114.0
件数	226	225	228	225	221	223	223	222	221	223	216	214	214	207	206	194	181	185	181	177	170	144	127	107

出典 「ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）」（ＴＫＣ全国会発行）

非上場企業の会計情報の分析例　①－２

ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）　[令和３年５月月次決算まで]　利用者情報　解説書

業種名 （76）飲食店　業種選択　売上規模 全企業　地域 北海道　選択　企業分類 すべて　業歴 すべて

売上高（実額）　前グラフ　次グラフ　説明　業種比較

<平均値>　(単位：千円、%)

	令和元年							令和2年												令和3年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高	6,924	9,533	9,471	8,783	6,173	6,679	9,092	6,625	5,851	6,627	4,478	5,639	4,670	7,722	7,175	7,380	6,261	5,522	6,230	5,072	4,172	8,190	7,671	5,828
前年比	96.6	104.3	101.8	100.0	97.9	96.7	91.0	90.8	97.1	69.6	58.7	52.7	62.8	81.5	74.9	80.6	91.8	73.3	65.1	73.1	68.5	93.3	112.4	68.4
件数	571	569	572	576	576	578	581	577	580	590	583	580	581	580	564	543	515	501	481	431	432	387	329	297

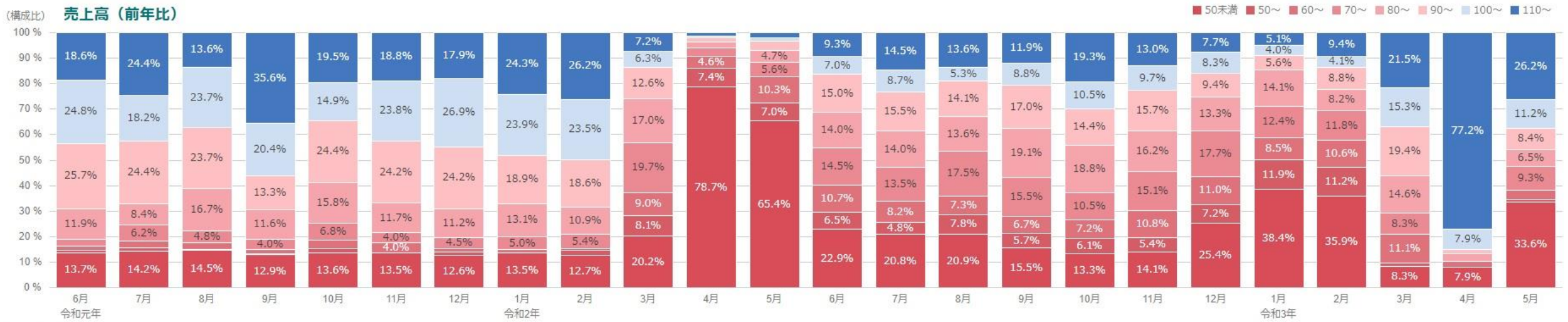
出典 「ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）」（ＴＫＣ全国会発行）

非上場企業の会計情報の分析例　②－１

ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）　[令和３年５月月次決算まで]　　利用者情報　解説書

業種名 （76）飲食店　業種選択　売上規模 全企業　地域 兵庫県　選択　企業分類 すべて　業歴 すべて

売上高（前年比）　前グラフ　次グラフ　説明　１０%単位　５%単位　前年同月　前々年同月　業種比較



＜収録企業数＞　（単位：社）

前年比 (%)	令和元年							令和2年													令和3年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
収録数計	226	225	228	225	221	223	223	222	221	223	216	214	214	207	206	194	181	185	181	177	170	144	127	107
110～	42	55	31	80	43	42	40	54	58	16	3	4	20	30	28	23	35	24	14	9	16	31	98	28
100～	56	41	54	46	33	53	60	53	52	14	1	3	15	18	11	17	19	18	15	7	7	22	10	12
90～	58	55	54	30	54	54	54	42	41	28	4	8	32	32	29	33	26	29	17	10	15	28	2	9
80～	27	19	38	26	35	26	25	29	24	38	5	10	30	29	28	37	34	30	24	25	14	21	4	7
70～	6	14	11	9	15	9	10	11	12	44	7	12	31	28	36	30	19	28	32	22	20	12	0	10
60～	4	6	6	4	7	9	3	3	2	20	10	22	23	17	15	13	13	20	20	15	18	16	3	4
50～	2	3	1	1	4	0	3	0	4	18	16	15	14	10	16	11	11	10	13	21	19	2	0	1
50未満	31	32	33	29	30	30	28	30	28	45	170	140	49	43	43	30	24	26	46	68	61	12	10	36

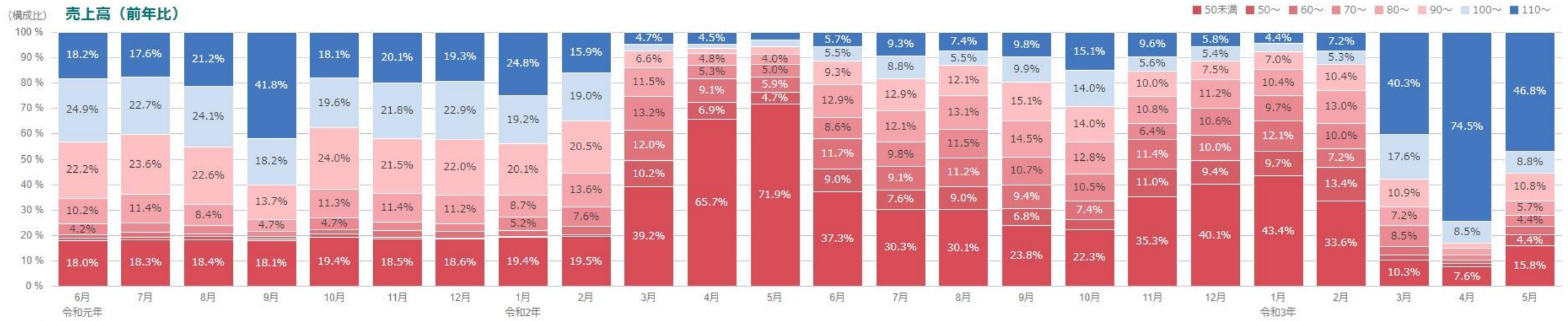
出典 「ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）」（ＴＫＣ全国会発行）

非上場企業の会計情報の分析例　②－２

ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）　[令和３年５月月次決算まで]　　利用者情報　解説書

業種名 (76) 飲食店　業種選択　売上規模 全企業　地域 北海道　選択　企業分類 すべて　業歴 すべて

売上高（前年比）　前グラフ　次グラフ　説明　１０%単位　５%単位　前年同月　前々年同月　業種比較



＜収録企業数＞　（単位：社）

前年比 (%)	令和元年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月	4月	5月
収録数計	571	569	572	576	576	578	581	577	580	590	583	580	581	580	564	543	515	501	481	431	432	387	329	297
110～	104	100	121	241	104	116	112	143	92	28	26	17	33	54	42	53	78	48	28	19	31	156	245	139
100～	142	129	138	105	113	126	133	111	110	15	10	17	32	51	31	54	72	28	26	14	23	68	28	26
90～	127	134	129	79	138	124	128	116	119	39	12	16	54	75	68	82	72	50	36	30	45	42	7	32
80～	58	65	48	27	65	66	65	50	79	68	28	23	75	70	74	79	66	54	54	45	56	28	8	17
70～	24	20	19	12	27	20	17	30	44	78	31	29	50	57	65	58	54	32	51	42	43	33	7	13
60～	7	11	5	5	10	14	15	13	18	71	53	34	68	53	63	51	38	57	48	52	31	12	5	10
50～	6	6	7	3	7	5	3	2	5	60	40	27	52	44	51	37	20	55	45	42	58	8	4	13
50未満	103	104	105	104	112	107	108	112	113	231	383	417	217	176	170	129	115	177	193	187	145	40	25	47

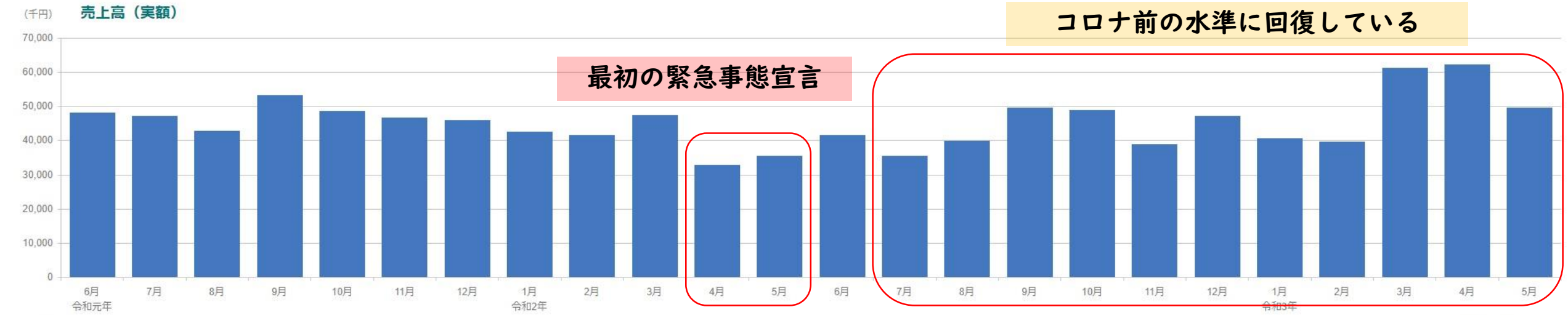
出典 「ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）」（ＴＫＣ全国会発行）

非上場企業の会計情報の分析例　③－１

ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）　[令和３年５月月次決算まで]　　利用者情報　解説書

業種名 （52）飲食料品卸売業　業種選択　売上規模 全企業　地域 兵庫県　選択　企業分類 すべて　業歴 すべて

売上高（実額）　前グラフ　次グラフ　説明　　業種比較



＜平均値＞　　（単位：千円、%）

	令和元年							令和2年												令和3年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高	48,123	47,040	42,686	53,281	48,651	46,657	45,890	42,572	41,670	47,499	32,878	35,430	41,511	35,438	39,791	49,605	48,735	39,000	47,254	40,571	39,590	61,358	62,108	49,484
前年比	86.6	103.6	93.8	106.0	95.1	93.4	98.2	96.3	96.6	84.7	75.6	77.0	82.9	79.3	77.2	87.5	89.9	87.2	85.6	82.9	80.2	101.1	116.7	100.3
件数	146	144	142	144	144	141	142	142	144	142	138	139	133	135	134	133	125	119	114	113	111	98	88	79

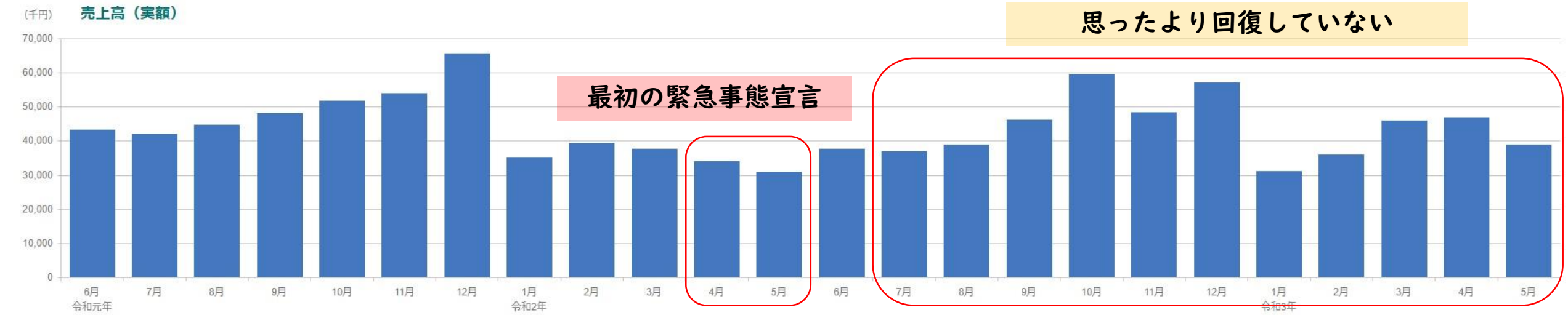
出典 「ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）」（ＴＫＣ全国会発行）

非上場企業の会計情報の分析例　③－２

ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）　[令和３年５月月次決算まで]　　利用者情報　解説書

業種名 （52）飲食料品卸売業　業種選択　売上規模 全企業　地域 北海道　選択　企業分類 すべて　業歴 すべて

売上高（実額）　前グラフ　次グラフ　説明　　業種比較



＜平均値＞　　（単位：千円、%）

	令和元年							令和2年												令和3年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高	43,315	42,106	44,618	48,037	51,692	53,888	65,564	35,308	39,456	37,677	34,027	30,821	37,561	37,039	38,982	46,231	59,541	48,396	57,072	31,176	35,918	46,010	46,940	38,897
前年比	101.6	105.2	93.4	98.7	95.9	99.2	102.1	104.2	96.8	82.0	79.5	79.4	89.1	90.2	90.6	94.6	101.2	88.9	85.4	85.3	87.6	105.4	118.6	108.0
件数	307	305	304	302	301	303	301	300	301	302	307	301	303	295	298	292	291	291	289	274	273	260	229	211

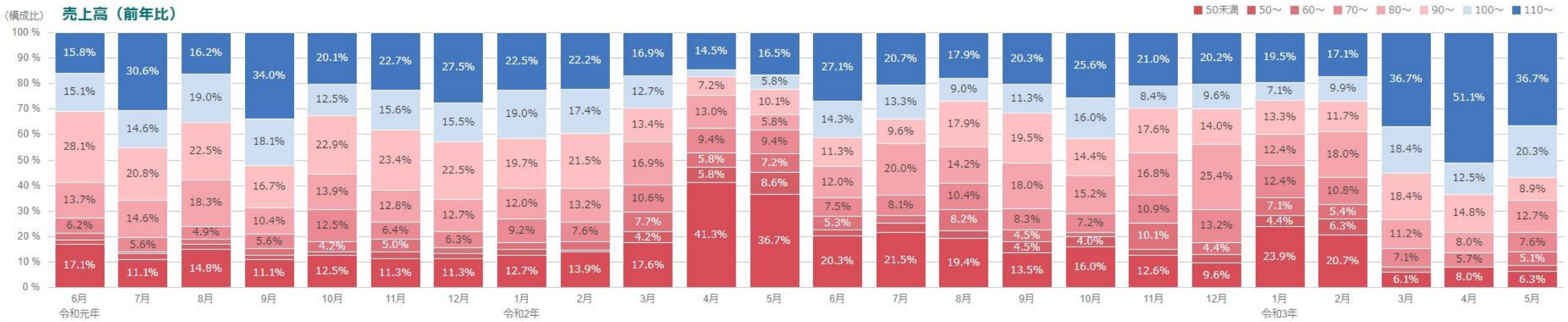
出典 「ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）」（ＴＫＣ全国会発行）

非上場企業の会計情報の分析例　④－１

ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）　[令和３年５月月次決算まで]　　利用者情報　解説書

業種名 （52）飲食料品卸売業　業種選択　売上規模 全企業　地域 兵庫県　選択　企業分類 すべて　業歴 すべて

売上高（前年比）　前グラフ　次グラフ　説明　１０%単位　５%単位　前年同月　前々年同月　業種比較



＜収録企業数＞　（単位：社）

前年比 (%)	令和元年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月	4月	5月
収録数計	146	144	142	144	144	141	142	142	144	142	138	139	133	135	134	133	125	119	114	113	111	98	88	79
110～	23	44	23	49	29	32	39	32	32	24	20	23	36	28	24	27	32	25	23	22	19	36	45	29
100～	22	21	27	26	18	22	22	27	25	18	4	8	19	18	12	15	20	10	11	8	11	18	11	16
90～	41	30	32	24	33	33	32	28	31	19	10	14	15	13	24	26	18	21	16	15	13	18	13	7
80～	20	21	26	15	20	18	18	17	19	24	18	8	16	27	19	24	19	20	29	14	20	11	7	10
70～	9	8	7	8	18	9	9	13	11	15	13	13	10	11	14	11	9	13	15	14	12	7	5	6
60～	4	1	3	4	6	7	3	4	5	11	8	10	7	4	11	6	2	12	5	8	6	2	0	4
50～	2	3	3	2	2	4	3	3	1	6	8	12	3	5	4	6	5	3	4	5	7	0	0	2
50未満	25	16	21	16	18	16	16	18	20	25	57	51	27	29	26	18	20	15	11	27	23	6	7	5

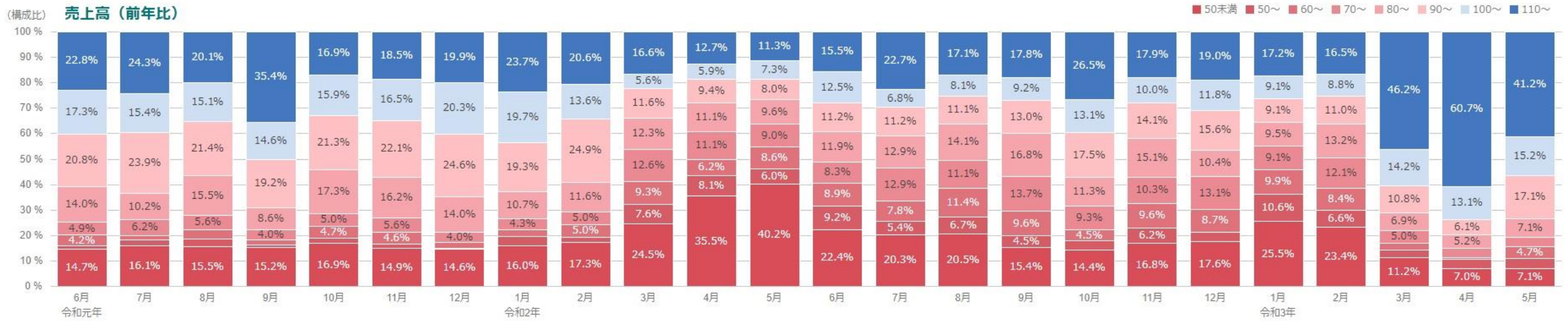
出典 「ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）」（ＴＫＣ全国会発行）

非上場企業の会計情報の分析例　④－２

ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）　[令和３年５月月次決算まで]　　利用者情報　解説書

業種名 （52）飲食料品卸売業　業種選択　売上規模 全企業　地域 北海道　選択　企業分類 すべて　業歴 すべて

売上高（前年比）　前グラフ　次グラフ　説明　１０%単位　５%単位　前年同月　前々年同月　業種比較



＜収録企業数＞　（単位：社）

前年比 (%)	令和元年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月	4月	5月
収録数計	307	305	304	302	301	303	301	300	301	302	307	301	303	295	298	292	291	291	289	274	273	260	229	211
110～	70	74	61	107	51	56	60	71	62	50	39	34	47	67	51	52	77	52	55	47	45	120	139	87
100～	53	47	46	44	48	50	61	59	41	17	18	22	38	20	24	27	38	29	34	25	24	37	30	32
90～	64	73	65	58	64	67	74	58	75	35	29	24	34	33	33	38	51	41	45	25	30	28	14	36
80～	43	31	47	26	52	49	42	32	35	37	34	29	36	38	42	49	33	44	30	26	36	18	12	15
70～	15	19	17	12	15	17	12	13	15	38	34	27	25	38	33	40	27	30	38	25	33	13	8	8
60～	13	5	12	6	14	14	7	8	15	28	19	26	27	23	34	28	13	28	25	27	23	7	2	10
50～	4	7	9	3	6	5	1	11	6	23	25	18	28	16	20	13	10	18	11	29	18	8	8	8
50未満	45	49	47	46	51	45	44	48	52	74	109	121	68	60	61	45	42	49	51	70	64	29	16	15

出典 「ＴＫＣ月次指標（月次ＢＡＳＴ）」（ＴＫＣ全国会発行）

人口集中　or　人口分散

地域の特性を考えるきっかけに

月次ＢＡＳＴを利用すれば
地域の企業の財務分析も不可能ではない

商業科での学びを知ってもらうには
絶好の機会

簿記会計の知識で
地域問題の解決への糸口を

持続可能な簿記教育

今後何が求められているかを
常に考える必要がある

一歩先を向いて

4 質の高い教育をみんなに

ありがとうございました